



液体

海のチカラを植物へ。 マリンインパクト

海藻抽出物100%使用

【登録番号：輸第106646号】

肥料としての有効成分 窒素全量0.1/水溶性加里3.0

北海道限定販売 「マリンインパクト2」1ℓ・4ℓ
【登録番号：輸第106719号】

肥料としての有効成分 窒素全量0.1/水溶性りん酸0.3/水溶性加里1.6

- 対象：作物全般(果樹、芝含む)
- 使用量：10アールあたり100~200ml
- 使用方法：2-3週ごとの継続散布(推奨)
※必要に応じて1週間間隔でも問題ありません。

<葉面・土壌散布>500~1,000倍
 <溶液栽培>5,000~20,000倍(1-2週間ごとに補充)

目的	使用時期	回数
オススメ 健全育苗	発芽後1週間以内	2週間おき1-2回
オススメ 初期生育の充実	2-3葉期もしくは定植後すぐ	2週間おき2-3回
オススメ	<定植直後>ストレス発生3-5日前	2週間おき2-3回
ストレス(寒暑等)対策	<根部充実>定植後・花芽分化期2週間前	2週間おき1-2回
	<着果・果実充実>花芽分化・肥大期	2週間おき2-4回
着色・登熟の時間短縮	果実肥大初期	2週間おき1-2回
青果物の鮮度保持	収穫の3日前~直前	1回
お礼肥え・樹の充実	休眠前に土壌散布	1回

特にオススメの作物・場面

- 省力化推進のための育苗箱減少を目的とした密播・密苗
- 結球・球根・地下茎肥大作物(いも・たまねぎ・甜菜・結球野菜・にんにく等)
- ストレスを受けやすい長期取り作物(イチゴ・トマト・なす・きゅうり等)
- 成り疲れ対策にも効果抜群

マリンインパクト国内試験

自然ストレス事例1【風害からの回復】

【2月3日：風害を受けた直後】 【3月17日：基盤を強化】

品種：玉ねぎ(MKA22)/佐賀県 ■2週間おきに1,000倍希釈処理 ■施用量：100ml/10a

無処理区

マリンインパクト区

強風でマルチがはがれて張り直し。活着が悪く葉に元気がない状態

他の畝と遜色ないほどに成長

【4月7日撮影】

無処理区

マリンインパクト区

収量増加
高品質
に貢献!

玉太りしていて、茎も太く効果を発揮

自然ストレス事例2【高温・乾燥の樹勢維持】

品種：直播ビート/北海道 ■5月20日凍障害目的、6月下旬樹勢維持目的で散布 ■施用量：100ml/10a

無処理区

マリンインパクト区

下位葉の萎れが酷い状況

萎れが軽減!

育苗(水稻)

品種：コンヒカリ/岡山県 ■4月7日播種、4月12日散布 ■施用量：100ml/10a

無処理区

マリンインパクト区

下位葉の葉先が枯れ、位置バラバラ

枯れが少ない!位置が揃っている!

細胞強化で環境ストレスに打ち勝つ!
 ファイトクロームの海藻バイオスティミュラント



Marine Impact

海のチカラを植物へ。 マリンインパクト

海藻抽出物100%使用

世界を代表する海藻資材メーカー
 カナダ「アカディア プラント ヘルス」と
 国内バイオスティミュラントの老舗
 「ファイトクローム」がタッグを組んだ
 植物細胞にアプローチする新バイオスティミュラント。



海の手カラを植物へ。

ファイトクロームの「マリンインパクト」

創業20年。植物が持つ本来の手カラ、免疫力にいち早く着目し、農業や肥料に頼らない持続可能な農業を応援してきたファイトクローム。近年では、植物の香り成分を利用した新しい技術開発も進めており、農芸化学技術賞を受賞するなど、環境変化に対応し、価値を創造する農業資材の開発に努めています。

世界的な課題である温室効果ガスを削減するとともに、豊かな栄養と特異的成分を地上の作物へ還元し活用する循環型原料として、農業分野で注目を集める「海藻」。米国・欧州で積極導入されている海藻資材、その革新的メーカーとして世界に知られるカナダのアカディアン プラント ヘルス(以下APH)。ファイトクロームは、APHが手掛けた肥料成分など副資材を含まない海藻抽出液を日本国内向けに「マリンインパクト」としてお届けいたします。

農林水産省では持続可能な食料システムの構築に向け「みどりの食料システム戦略」を策定。その中で農林水産分野での2050年ゼロエミッション達成に向けて、海藻類によるCO₂固定化(ブルーカーボン)など温室効果ガス削減に向けた技術革新を推奨しています。



カナダ沖で採れる海藻
アスコフィラム ノドサム
(*Ascophyllum nodosum*)
だけを原料にした
海藻バイオスティミュラント

100%

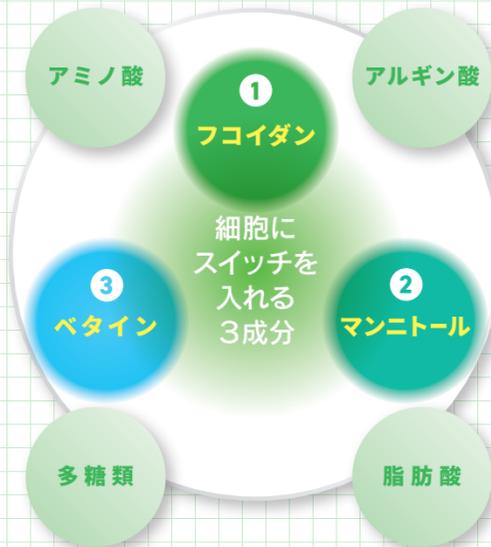
植物の眠れるチカラにインパクト!

たとえば厳しい日照りに葉を萎れさせるのは、無駄なエネルギーを使わない植物の自己防衛能力。一方で、植物は厳しい環境にもあえて根を張り、葉を伸張させ生き延びようとするDNAも持っています。この眠れるチカラに刺激を与え負荷なく目覚めさせるのが、バイオスティミュラントであり「マリンインパクト」なのです。

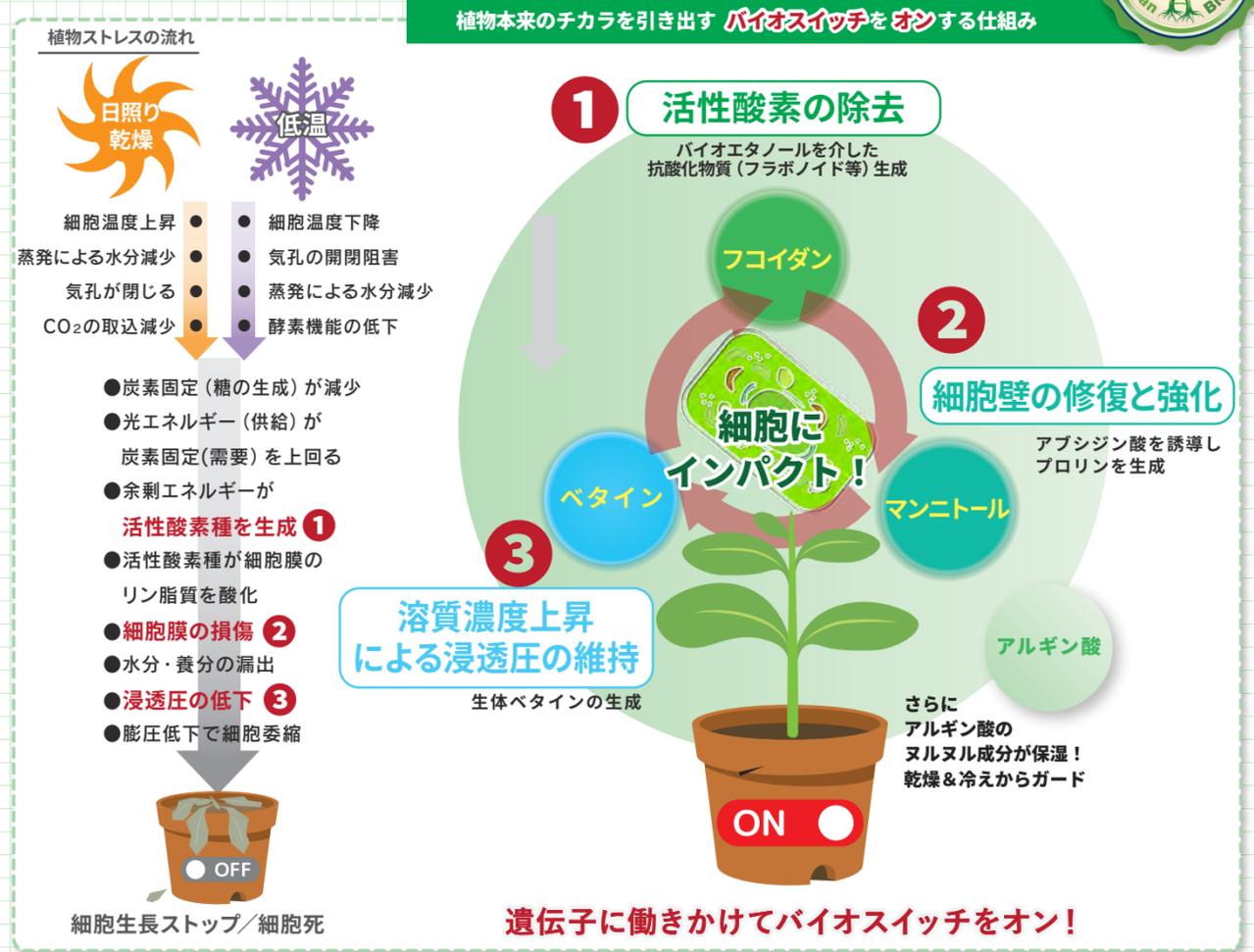
「マリンインパクト」の3つのインパクト

- ① 根系を充実・発根にインパクト!
- ② 維管束(水・養分の通り道)にインパクト!
- ③ 細胞にインパクト!

アスコフィラム抽出物100%使用 7つの植物活性有機物



自ら死を選ぶ前に細胞にインパクト! 「マリンインパクト」の作用機序



厳しい環境で育った海藻のみに受け継がれる ストレス耐性DNA

マリンインパクトの原料は、カナダ沖に生息する海藻、アスコフィラムです。今から5億年前に海から陸へと進出し、厳しい環境に対応し繁殖を広がたと考えられている植物。アスコフィラムは分析の結果、当時の原始植物と同じようなストレス耐性成分を持つことが明らかになっています。マリンインパクトの原料となるアスコフィラムは、潮間帯という海中・海上の両方で生息。冬のアトランティック海はマイナス30度以下まで冷え込み、夏の岩場は照り付ける日差しで20度以上を記録。厳しい環境下で耐え抜き、5年以上かけてゆっくりと肥沃に成長したものを原料として使用しています。



海藻抽出物 100%。 世界をリードする高度な エンジニアリングで製造

アカディアン プラント ヘルス (以下APH) では北大西洋の生態を保護しながら、アスコフィラムを採取しています。収穫はすべて手作業で。新鮮な海藻に存在する重要な有機成分を壊さずに、純粋なままバイオスティミュラント資材として解放する独自の技術で製造しています。天然原料を使用しながらも常に均一かつ優れたパフォーマンスを提供できるように、APHでは業界で初めてカナダ国立研究評議会とともに核磁気共鳴(NMR)技術を使用して抽出物の生化学的波形を特定。製品一致させることにより、一貫した品質提供を可能としています。



1981年創業。米国の市場調査会社データブリッジが、世界の海藻製品を扱う企業の中で、最も革新的な企業として位置付けたアカディアン プラント ヘルス。科学的根拠に裏付けられたトリガー技術「Acadian BioSwitch™」を世界の農業生産者に提供。持続可能な生産・製造を通して、植物の健康問題を解決しています。